

授業科目名： 地理歴史科教育	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 4単位	担当教員名： 鎌田 幸男
			担当形態： 単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校 地理歴史）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ			
① 社会系の教師に求められる資質と能力とは、どのようなことかを認識できる。			
② 地理的、歴史的な「見方や考え方」とは、どのようなことかを理解し、説明できる。			
授業の概要			
本授業では、地理、世界史、日本史の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について考える。各科目の教育内容と教育方法、評価について解説する。教育内容では現代社会の諸課題とその学習の関連を取り上げる。教育方法は指導案を作り模擬授業を行なう。そして相互に意見交換を通じて授業意識の高揚を図る。			
授業計画			
第1回：オリエンテーションー授業の計画と内容、進め方。アクティブ・ラーニング、模擬授業			
第2回：地理歴史科の学習についてー学習指導要領の改訂と地理歴史科学習の意義			
第3回：地理の学習について①ー地理的な見方、考え方、地理的機能について			
第4回：現代的課題と地理学習との関連②ー地域社会の現代的課題に着目して考えをまとめる			
第5回：日本史の学習について①ー歴史を学ぶ意義、とくに前近代と近現代の学習の意義について			
第6回：日本史の学習について②ー地域社会の歴史や文化に関心を持ち郷土への愛着心を育てる			
第7回：現代的課題と日本史学習との関連③ー歴史認識と科学的社会認識を養う			
第8回：世界史学習について①ー日本の歴史と世界の歴史の関連を理解する			
第9回：現代的課題と世界歴史学習との関連②ー現代の諸事例から諸地域世界の交流、変容を考える			
第10回：アクティブ・ラーニングの学習とは①ーその「学び方」を理解する			
第11回：アクティブ・ラーニングの授業準備②ー具体例を基にした学習展開と意見交換			
第12回：アクティブ・ラーニングの模擬授業③ーより深い理解ができたか、意見交換			
第13回：反転学習とはーどのような学習形態化か理解する			
第14回：地理歴史科の学習課題についてーレポート提出			
第15回：授業の振り返りーレポートを題材に意見交換、授業への意識高揚を図る			
第16回：学習指導のあり方ー学習指導要領と教育課程について			
第17回：学習指導案作り①ー学習指導案の意義、教材研究の意義、評価について			
第18回：学習指導案作り②ー学習内容と教材の精選、学習の進め方について			

第19回：模擬授業、地理①－各種情報、資料の収集と活用、情報機器を活用した発表などを取り入れる

第20回：模擬授業、地理②－地域社会の事例からアクティブ・ラーニングによる学習をする

第21回：模擬授業を通じて相互に意見交換をする、地理学習のポイントについて

第22回：模擬授業、日本史①－教科書の図版や資料の読み取りを中心に組み立てる

第23回：模擬授業、日本史②－郷土の歴史事象からアクティブ・ラーニングによる学習をする

第24回：模擬授業を通じて相互に意見交換をする、歴史学習のポイントについて

第25回：模擬授業、世界史①－諸地域世界の交流など地図を用いて考える

第26回：模擬授業、世界史②－現代の課題からアクティブ・ラーニングによる学習をする

第27回：模擬授業を通じて相互に意見交換をする、世界史学習のポイントについて

第28回：地理、歴史科学学習の指導と評価①－生徒の評価（思考力、判断力など4項目から）

第29回：地理、歴史科学学習の指導と評価②－指導者の自己評価のポイントについて

第30回：一年間の授業の振り返り－地理、歴史の教師としての力量について

定期試験

テキスト

学習時に教材用プリントを配布。

参考書・参考資料等 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編」（2018発行予定）、教育実習を考える会編「教育実習生のための学習指導案作成教本 社会地歴公民科」（蒼丘書林 2007）

学生に対する評価 定期試験（50％）－前期（25％）後期（25％）、レポート（15％）指導案「15％」
模擬授業（20％）